

日本仏教社会福祉学会

Japanese Association for Buddhist Social Welfare Studies

令和 7（2025）年度

日本仏教社会福祉学会第 59 回大会 立正短期大学 第 59 回学術大会 開催ご案内（第 1 報）

2025（令和 7 年）5 月吉日

【大会テーマ】「現代社会における居場所づくりの必要性」

【大会日程】2025（令和 7 年）年 9 月 6 日（土）・7 日（日）（5 日：理事会開催）

【大会会場】東京立正短期大学 （東京都杉並区堀ノ内 2-41-15）

1 開催にあたって

日本仏教社会福祉学会の第 59 回大会は、本学会会員所属校である東京立正短期大学様のご協力により開催する運びとなりました。本学会にとっては、久しぶりの東京開催となります。本大会では、「現代社会における居場所づくりの必要性」について、会員の皆様と議論が含まれるようにシンポジウムのテーマを設定致しました。また、研究発表では多くの会員の皆様のご研究の発表の場としてご参加をお待ち致しております。

2 シンポジウム

「現代社会における居場所づくりの必要性—寺院が居場所になるためには—」

テーマについて

「居場所」とは不思議な言葉で、特定の場所を示すだけではなく、安心感や自尊感、所属感など社会との関係からポジティブな感覚(居心地が良いという感覚)を得られる空間について「居場所」と呼ばれる一方で、「居場所」や「居場所づくり」という言葉も、近年は多く聞かれます。その背景には、デジタル化に伴う社会的つながりの希薄化・都市化とコミュニティの希薄化による孤独感や孤立の増加があると考えられます。

「居場所づくり」は、個人が安心して過ごせる環境を提供するだけでなく、精神的健康や社会的つながりをつくり保つために必要不可欠であるといえます。一方で、価値観や宗

教観、信仰心の変化・社会構造の変容に伴う檀信徒数減少により、檀家制度は綻び始め、地域の寺院の存続も課題となっております。

本大会では、寺院が地域に果たしてきた役割を振り返るとともに、現代社会において、地域の寺院が地域のハブや「つながり」をつくる「居場所」の一つとなるための課題と可能性について考えてみたいと思います。

3 大会日程・概要

【9月5日（金）】

令和7（2025）年9月5日（金）15時 理事会：東京立正短期大学（会議室）

【9月6日（土）】

令和7（2024）年9月6日（土）

9時00分 受付開始 東京立正短期大学 2階ロビー

9時30分 物故者慰霊法要（短大 301 教室）

導師：堀之内学園常務理事・立正大学名誉教授 北川前肇師

10時00分 開会式（短大 303 教室）

10時30分 公開記念講演（短大 303 教室）

講師：堀之内学園常務理事・立正大学名誉教授 北川前肇師

NHK こころの時代「宮沢賢治－久遠の宇宙に生きる－」講師（2023）

題目：「宮沢賢治のめざしたもの」

* この公開記念講演は聴講無料です。

11時30分～13時00分 昼食（短大 学生ホール）

随時、堀之内妙法寺境内散策

13時00分～16時00分 シンポジウム「現代社会における居場所づくりの必要性—寺院が居場所になるためには—」（短大 303 教室）

シンポジスト

寺院の立場から 古河 良皓師（日蓮宗常圓寺・東京都目黒区）

実践者の立場から 唐沢 貴子氏（味噌カフェ・東京都西東京市）

研究者の立場から 馬場 康德氏（本学会会員・城西国際大学）

コーディネーター 栗田 修司氏（本学会会員・龍谷大学）

16時00分～16時30分 学会賞受賞研究報告（短大 303 教室）

日本仏教社会福祉学会第8回学会賞

『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から—』

著者 井川裕寛会員 出版社 株式会社法蔵館

16 時 40 分～17 時 20 分 学会総会（短大 303 教室）

17 時 30 分～19 時 30 分 懇親会（短大 学生ホール）

【9 月 7 日（日）】

9 月 7 日（日）研究発表会 東京立正短期大学 （短大 3 階教室）

9 時 00 分 受付開始

9 時 30 分～12 時 30 分 研究発表会 （短大 3 階教室）

4 大会参加費

（参加費の納入：振込票につきましては第 2 報でご案内にさせていただきます）

第 2 報到着後のお手続きのご案内です

大会参加費（2 日間）：3000 円

参加費のお支払いをもって参加受付とさせていただきます。

（会員区分、事前、当日の区分を設けません。学生会員は無料）

- ・発表予定の方は第 2 報のご案内にて大会参加（研究発表）のお申し込みをお願いします。

- ・学生会員の方

参加費は無料になりますが、研究発表を行う場合、別途お申し込みが必要です。

事務局まで参加申し込みのメール（info.jabsws@gmail.com）を

お願いいたします。①お名前 ②ご所属 ③昼食申し込みの有無

昼食費（9 月 6 日）：1000 円 事前に昼食お申し込みをお願いします（大会参加振り込み用紙にご記入ください。（お支払いは当日となります）

懇親会費（9 月 6 日）：3000 円（当日のお支払いとなります）

※ 参加費は同封の「払込取扱票」にて、8 月末日までにご送金ください。参加費のお支払いをもって参加受付とさせていただきます。

昼食費・懇親会費は、当日のお支払いとなります。お申込みの方は「払込取扱票」の該当項目にチェックを入れてください。

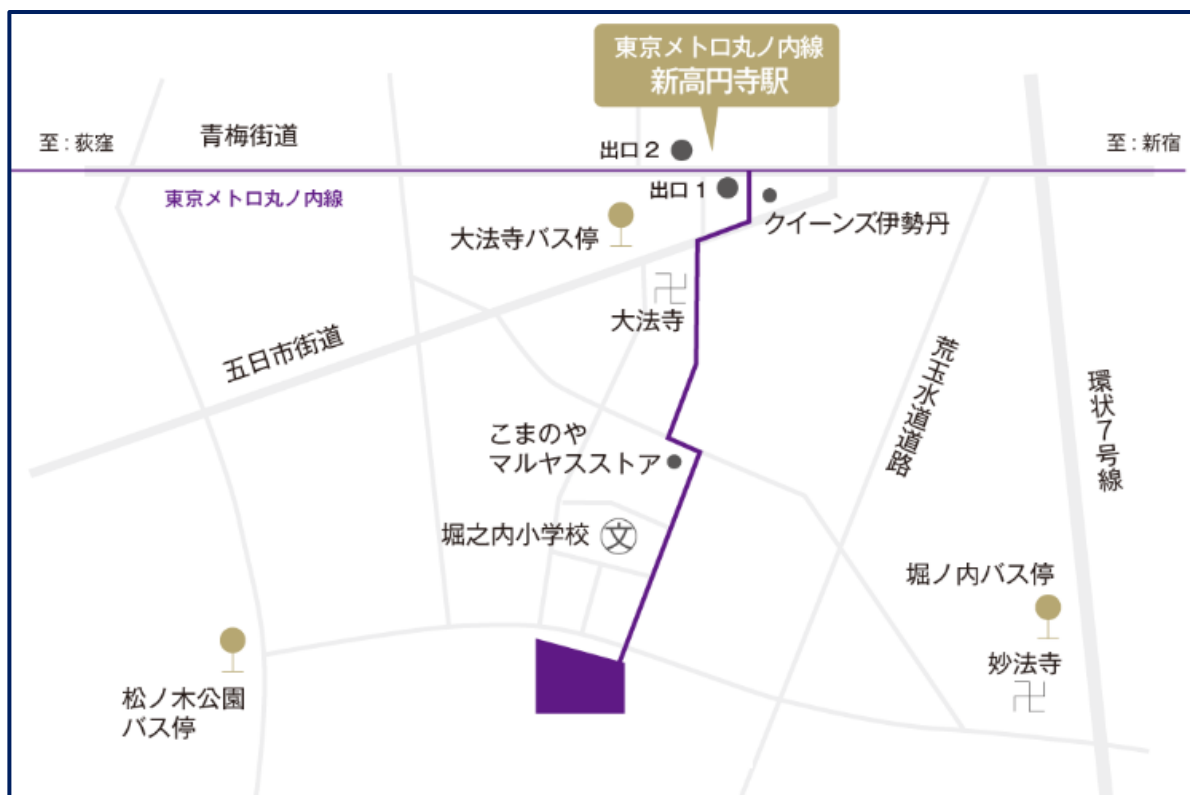
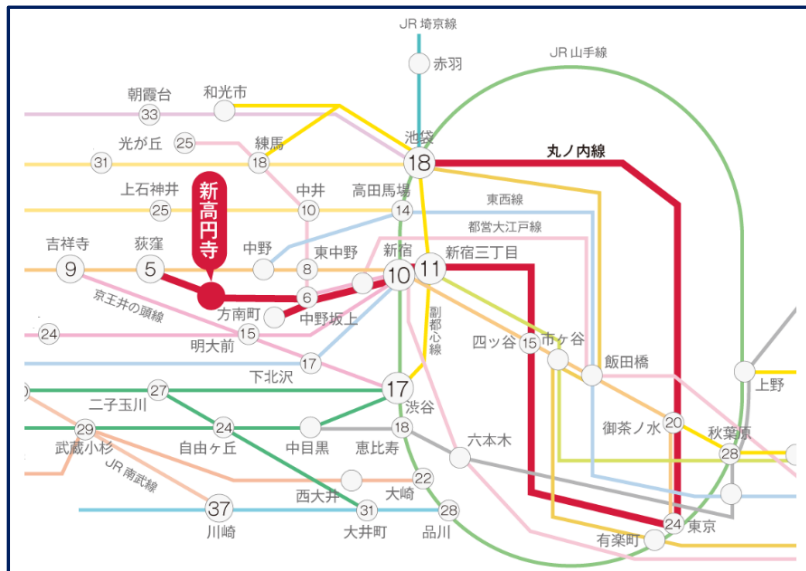
※ なお、昼食につきましては、東京立正短期大学の近くにコンビニなどが少ないため、上記昼食のお申し込みをお勧めします。

- ・研究発表申し込みについて 研究発表をご予定の方は、第 2 報にてご確認ください
発表申し込み締め切り 2025（令和 7）年 7 月 25 日（金）

5 東京立正短期大学へのアクセス方法

東京メトロ丸ノ内線 新高円寺駅下車 徒歩 12 分 ※出口 1 をご利用ください。
最寄り駅から約 800m。徒歩またはタクシー利用。

東京立正短期大学 〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15



6 宿泊申し込み方法

宿泊に関しましては、各自でご手配をお願いいたします。

7 : 今後の予定

第 2 報で、大会の詳細についてお伝えいたします。6 月下旬頃を目安にご案内いたします。

- ・大会参加および昼食・懇親会の申し込みについて
- ・研究発表申し込みについて
- ・その他

8 : 台風や災害時の対応について

例年 9 月は台風シーズンとなります。本学会でも過去に台風の影響で大会日程を大幅に変更したこともあります。また交通機関についても支障が見込まれることがあります。

大会開催について、会員の皆様の安全を考え開催地に暴風警報発令の場合、開催時間の 3 時間前に発令中の場合は午前の部を中止、午前 10 時時点で発令中の場合は午後の部を中止としています。

また、事前に台風の接近が見込まれる場合については、前日までに大会事務局として開催の可否を判断させていただき、ホームページでご案内させていただくことをご了承ください。

令和7（2025）年度 日本仏教社会福祉学会

第59回大会 研究発表 申し込み要領

1 自由研究発表の申し込み（会員対象：含む学生会員）

（第2報で改めてご案内いたします、大会参加費のご入金が必要となりますのでお手続きをお忘れなくお願いいたします）

1）申し込みについて 申し込み方法：メールにて申し込みを受け付けます。

メール件名 「（お名前） 日本仏教社会福祉学会研究発表申し込み」

★申し込み時に提出するもの（添付ファイルにてお願いします）

提出物① 研究テーマと概要（A4判 800字から1200字程度）1枚

提出物② 発表者などの情報が分かるもの。

下記の内容を記載したA4用紙1枚

- ・発表者氏名（共同研究者がいる場合、全員の名前を明記：会員であること）
- ・ご所属 ・連絡先住所 ・連絡先電話（連絡がつきやすいもの）
- ・連絡先メールアドレス ・パワポの使用の有無

※①②ともに書式は自由とします。

2）提出先 メール： info.jabsws@gmail.com

大会事務局でメールを受領しましたら、返信アドレスに「受信完了」の返信を致します。送信後4日以内に返信がない場合、大会事務局 電話 043-265-9879 までお手数ですがご連絡をお願いします。

3）発表申し込み締め切り **2025（令和7）年7月25日（金）**

4）発表採用の可否について

提出された、「研究テーマと概要」をもとに事前審査を行います。査読の結果、不採用となる場合もありますことをあらかじめ、ご了承ください。不採用の場合のみ、8月1日（金）までにご連絡します。

5）研究発表の要旨集掲載原稿につきましては、作成要項をご参照ください。

・要旨集掲載原稿提出締め切り **2025（令和7）年8月22日（金）厳守**

2 自由研究発表について

- 1) 発表時間 報告時間20分、質疑応答や討議10分で、1報告30分を予定しています。
- 2) 会場備品 パソコンは会場備え付けのノートパソコン（OS:windwos11）をご使用ください

PowerPoint：Microsoft office 2019又は2021での作成をお願いします。他の形式での発表もできますが、対応するソフトがないこともありますのでご了承ください。

発表当日、開始時間前にUSB等メモリーからノートパソコンのデスクトップに 各自でコピーしてください。各会場にプロジェクターを設置し、発表に使用します。

- 3) 当日の配布資料について

発表者で資料を配布される方は、30部程度（書式や印刷部数の判断はお任せいたします）を当日持参してください。大会事務局では、印刷やコピーの対応はできませんのでご注意ください。

3：その他留意点

- 1) 掲載原稿の様式及び研究倫理の点について

掲載原稿の様式が指定したものと違う場合や研究倫理の点から発表にそぐわないと判断した場合は修正を依頼いたします。当日の配布資料についても研究倫理の点に注意して作成してください。

掲載原稿の様式のための修正につきましては、大会事務局で対応させていただきます。

- 2) 発表の申し込み資格（共同研究者を含む）

研究発表の応募資格は、日本仏教社会福祉学会の会員であることが前提です。

研究発表の要旨集掲載原稿 作成要項

1：報告要旨集について

大会当日に配布します、大会研究要旨集の掲載原稿についてのご案内になります。本作成要項をご確認いただき、原稿の作成をお願いいたします。

・要旨集掲載原稿提出締め切り **2025（令和7）年8月22日（金）厳守**

提出先メール：info.jabsws@gmail.com

原稿提出について（添付ファイルにてお願いします。ファイル名は「お名前+論文タイトル」でお願いします）

提出物 要旨集掲載原稿（既定の書式に従ったもの）

メール件名 「（お名前） 日本仏教社会福祉学会研究発表 原稿」

メール本文に発表者などの情報が分かるものを

- ・発表者氏名 ・ご所属 ・連絡先電話（連絡が付きやすいもの）
- ・連絡先メールアドレス

大会事務局でメールを受信しましたら、返信アドレスに「受信完了」の返信を致します。送信後4日以内に返信がない場合、大会事務局（電話：042-265-9879）までお手数ですがご連絡をお願いします。

2：研究発表の要旨集掲載原稿 作成要項

1）原稿の様式

- ① 用紙サイズ・枚数 A4判 2ページの横書きです。
- ② 次ページの「研究発表 原稿様式」のとおり作成してください。
- ③ 用紙の余白を、上下左右 各25mmあけてください。
- ④ 一行の文字数と行数は特に指定しません。

2）原稿の記述する事項

- ① テーマ、発表者全員の氏名・所属（主発表者には○を付ける）、キーワードを3つ明記してください。
- ② 調査を伴わない文献研究の場合でも、プライバシー保護にはご注意ください。
- ③ 事例等での記述では、プライバシー保護、関係者の承諾等にご注意ください。

本大会に関する問い合わせは、下記をお願いいたします。

7月下旬から9月上旬は、夏期業務体制となり電話での問い合わせ対応が取れないことがあります。メールでのお問い合わせをお願いいたします。

令和7（2025）年度 第59回日本仏教社会福祉学会学術大会実行委員会 委員構成
(五十音順)

清水海隆 武田悟一 馬場康德 渡邊義昭

本大会に関する問い合わせは、下記をお願いいたします。

2025（令和7）年度 日本仏教社会福祉学会学術大会連絡事務局

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町 200 淑徳大学
アジア国際社会福祉研究所 アジア仏教社会福祉学術交流センター内
2025（令和7）年度 日本仏教社会福祉学会学術大会連絡事務局

電話 043-265-9879 FAX 043-265-7339

メール info.jabsws@gmail.com